



多文化共生を目指す 川口市



かわぐち市民パートナーズステーション



川口市多文化共生
パスポートの一部

いかす

川口市では、どのような交流をしているのでしょうか。

川口市は、市内にくらす外国人市民の数が全国で1番目に多い都市^{*}です(2021(令和3)年)。外国人市民と共にくらすために、川口市ではさまざまな取り組みが行われています。

※法務省統計 在留外国人総数上位100自治体(令和3年6月末現在)

川口市 協働推進課多文化共生係の人の話



川口市には、およそ3万9千人の外国人の方が住んでいます。その多くは中国の方ですが、さまざまな国の方がいて、今後もふえると思われます。

そこで川口市役所では、外国人相談窓口をもうけて、日本語と外国語で川口市の情報提供、生活相談、日本語教室の案内などを行っています。また、日本人住民へ向けて「川口市多文化共生パスポート」を作成しました。

外国人住民を地いきの中で共にくらすパートナーとして受け入れて、多文化共生社会をつくっていきたいと考えています。



芝園団地

市内にある芝園団地は、住む人の半数以上が外国人市民になっています。ここでは自治会のメンバーに中国人の方が入っています。

このように川口市では、外国人市民もまちづくりに積極的に参加し、外国の方の考えや意見を取り入れた多文化共生のまちづくりをすすめています。